

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	全身 MRI の臨床的有用性の検討 -後ろ向き観察研究-
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2015 年以降当院で全身 MRI 検査を受けた患者さん
③概要	<p>全身MRIは特に転移性骨腫瘍のスクリーニングや治療効果の判定に有用とされる画像検査です。転移性骨腫瘍の検索には骨シンチグラフィーが多用されますが、骨棘や変形性関節症等が合併していると確定診断に至らないことが多いのが現実です。</p> <p>全身 MRI (DWIBS 法) は拡散強調画像を主に用いて膝から上のほぼ全身をスクリーニング可能な画像検査で当院では開設以来 泌尿器科、整形外科を中心に画像検査がなされてきました。CT 検査では発見できなかった骨転移やリンパ節転移が DWIBS 法で明確になった症例、骨転移病勢を客観的に評価できた症例を相当数経験しており、本検査の臨床的有用性と診断上の問題点について検討を行う目的で本研究を計画しました。</p>
④申請番号	01-020
⑤研究の目的・意義	当院でおこなわれた全身MRIの有用性や診断上の問題点についてについて検討を行う。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2024 年3月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、画像検査、病理組織診断、血液検査データ利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、死亡情報、治療内容）、画像検査結果、血液検査結果、病理検査結果
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院整形外科 生越章
⑪ お問い合わせ先	魚沼基幹病院整形外科 生越章 南魚沼市浦佐 4132 電話 025-777-3200